

特集

NPOと新しい公共その② 公共サービスの担い手編

やってみよう! 社会と向き合うあなたのポジション!

● いしかわのNPO

- ・JIA(日本建築家協会)北陸支部 石川建築家協会
- ・NPO法人 ぽっかぽか

● 書籍紹介コーナー

● ちょっと気になる、いしかわのNPO

- ・NPO団体 シニア道場 楽

シリーズ②

非営利団体のためのQ&A

『教えて、i-ねっとのあおみさん』

● インフォメーション

- ・県からのお知らせ
- ・助成金ニュース

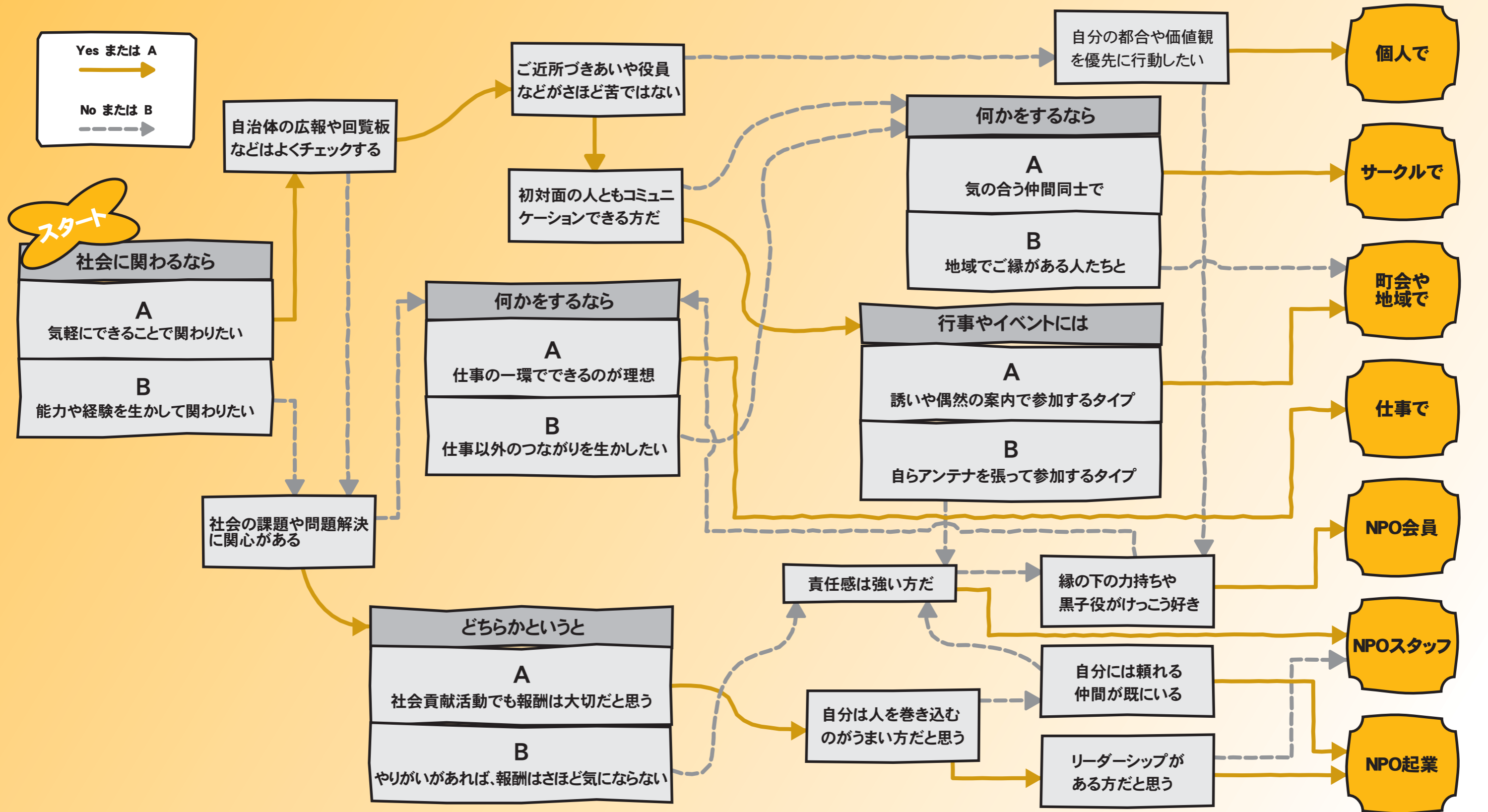
● シニアVOICE

- ・能登宝生会

つながる、
ひろがる、
ふれあう。

やってみよう! 社会と向き合うあなたのポジション!!

前は「これまでの10年とこれからの市民社会」を「新しい公共」の姿を通して描きました。今回の特集では、その具体的な担い手のポジションを「YesNoゲーム」にしてみました。あなたならどのポジションで社会と向き合いますか？



ポジションへの アドバイス

「Yes No ゲーム」で、あなたはどこのポジションにたどり着きましたか？
ポジションごとの関わり方をアドバイスします。

個人で

福祉活動や文化イベント、清掃活動、あるいは行政参加の公募など、市民を対象としたボランティア活動をしてみませんか。個人としても関わることのできる社会貢献活動です。

少人数のサークルで

趣味を生かした活動、例えばコンサート、ライブ、舞台芸能などをチャリティーで開催し、収益を寄付したり、グループでイベントなどのボランティア活動に参加してみませんか。

町会や地域で

少子高齢化で、どこでも役員のなり手不足で困っています。小さなことでも手を挙げて関わり、地域の人たちにとっても感謝されます。暮らしの中でキラリと輝いてみませんか。

仕事で

企業の社会貢献活動が近年活発になっています。ボランティア団体に社員を派遣する大手の会社もあります。環境を意識した業務の取り組みも企業の身近な社会貢献活動です。

NPOの会員として

社会の課題や、関心のあるテーマを見つけ、同じ目的で活動している団体の会員となって活動に参加したり、会費により、団体の財政的な支援もできます。

NPOのスタッフとして

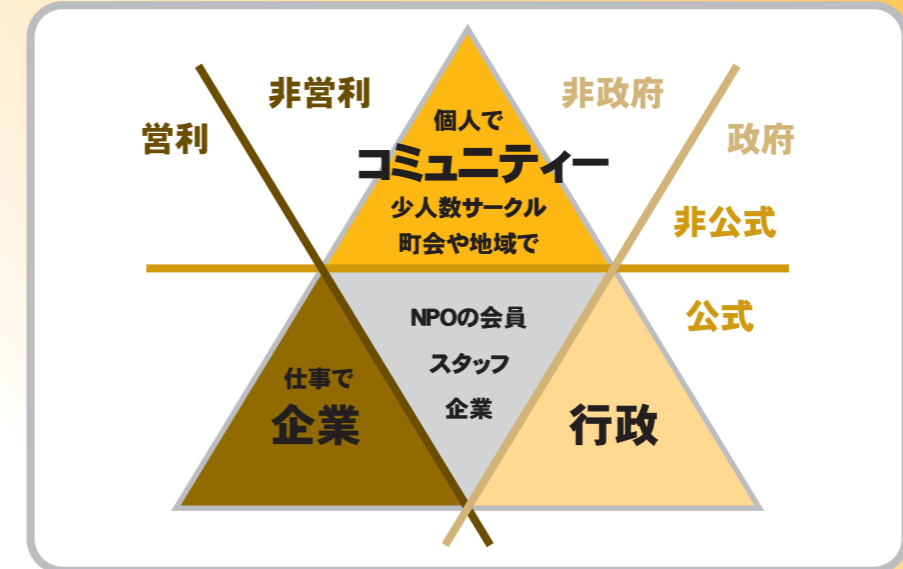
NPO法人などの社会的責任のある団体の牽引者として、持っている才能を発揮することで、大きな自己実現感を得ることができます。忙しさに振り回されず、創造的に活動してみましよう。

NPOを起業して

持っている才能を社会貢献活動で発揮するために、想いに賛同するメンバーと共に組織を立ち上げましよう。収益性のある事業も積極的にいき、スタッフを雇用したり、事業を拡大してみましよう。

新しい公共と ペストフのトライアングル

あなたのポジションを社会を構成するトライアングルの中で解説します。



最近、「新しい公共」の議論の中で、よく使われるのが、「ペストフのトライアングル」です。ペストフは、金沢大学にも在籍していたことがあるスウェーデンの政治学者ですが、NPOの意義を理解するための組織分類として、この図をつくりました。公共の担い手を3つの方向から見て分かりやすく整理しています。

3つの軸に注目してみましょう。公共の担い手は、政府と非政府に分けられるほか、営利と非営利、公式と非公式にも分けられます。行政は、非営利で、政府、公式の領域です。営利であり、非政府、公式の領域に入るのは、企業です。そして、非政府で非営利、非公式なのがコミュニティとなります。

これまでの「公共」は、右下の「行政」が担うものというイメージが強く、その中から、一部を非政府（つまり民間）で営利、公式の領域である「企業」に下請けに出してきました。一方で、身近な地域課題を解決するために、地域の人々が力を出しあい、「コミュニティ」によって公共を担う活動も多くあります。ただし、このような活動は非公式なので、必ずしも継続的な活動が約束されるわけではありません。

そこで、「官から民へ」の流れの中で、これまで行政が担ってきた公共サービスを非政府の領域で担おうとするときに、このトライアングルの中心にある「非政府、非営利、公式」の存在、NPOが注目されるのです。「新しい公共」では、この領域を強化することで、公共の質を高めていくことが大切です。

私たち市民が、公共の担い手となるときに、どのようなポジションで社会と関わるか。それを、この図の中で表すと、3つの軸で分けられた4つの領域のうち、非政府である3つの領域が立ち位置となることが分かります。コミュニティの一員として、個人で活動に参加するときもあれば、企業の構成員という立場で、仕事に関わることもあるでしょう。もちろん、NPOの会員やスタッフとしての関わり方もあります。

どのポジションに関わったとしても、私たち自身が、より良い社会を築いていくための「新しい公共の担い手」であることには変わりありません。大切なことは、自分自身を社会に対して開いていくこと。あなた自身と社会の「関わり」や「つながり」の中で、「新しい公共」が育まれていくのです。

JIA(日本建築家協会)北陸支部 石川建築家会議

北陸支部 事務局
〒920-0805 石川県金沢市小金町3-31
TEL:(076)229-7207 FAX:(076)229-7208
E-mail:mail@jia-hokuriku.org

団体の紹介

JIAとは、日本建築家協会の略で、日本中の設計者の集まりです。建築文化の創造や発展を目的としており、身近な所でいうと、金沢の景観創出等を通して、社会活動を行っています。

「JIA子ども建築塾」の活動内容

社会活動の1つとして、私たちは「JIA子ども建築塾」というグループをつくり、子供たちと、建築を通して触れ合える様々な活動に取り組んでいます。

具体的には3つの活動を主体としています。

①しんぶんしドーム

新聞紙というどこにでもある身近な材料を使って、大きなエアドームを作ります。

②連続ワークショップ

全4回のワークショップ(町家歩き、設計図・模型作成等)を通して、建築や私たちの住んでいる街に興味をもってもらうことを目的としています。科学技術振興機構(JST)の地域活動支援の補助金を頂いて活動しています。

③建築出前出張講座

学校等に私たちが直接行って、建築についての勉強会を行います。



▲ドームをコンコースに展示

「みんなでつくろう!?しんぶんしドーム2010」の開催!

8/28(土)には、今年で3回目となる、金沢駅のもてなしドーム地下広場でのしんぶんしドームコンテストを開催しました。子供たちの参加人数は120名程度と、こども建築塾の活動の中でも目玉の企画となっています。今年は初めてテーマ設定を行い、金沢らしさという観点から「おもてなし」というテーマで各グループごとにドームを作りました。ドーム製作は新聞紙を切って貼り合わせるという単調な作業ですが、出来上がってドームを膨らませた時には、子供たちは目をキラキラさせ、楽しそうな表情で走り回ります。

これからの活動の展望

今回、初めて「金沢ゆめまちづくり活動支援事業」の採択を頂きました。JIAという名前はまだ一般の方には認知度は低く、金沢市と協働活動を行う中で広く周知できればと思います。これからも様々な取組みにチャレンジし、子供たちと建築や街をつなげる橋渡しになれば何よりです。



▲連続ワークショップ



▲ドームを楽しむ子供たち

NPO法人 ぽっかぽか

理事長 萬行 嘉子
TEL:(0767)52-2338
〒926-0042 七尾市作事町22番地

子ども達の笑顔を支援

平成18年7月、七尾駅前再開発ビル「ミナクル」内にある親子ふれあいランドあい・あい・あいにて「おもちゃ図書館こあら」として開設「ボランティアグループぽっかぽか」として活動をはじめました。

平成22年3月11日に石川県よりNPO法人(特定非営利活動法人)の認証を受けました。七尾市在住の子どもや子育て中の親に対して児童の健全育成や子育て支援等に関する事業を行っております。

▼バザーの様子 手作り作品等を販売



移動おもちゃ図書館 放課後クラブ▲

事業内容

- ① おもちゃ図書館事業
 - ・ 手作りおもちゃ作成 ・ おもちゃの貸し出し
 - ・ 移動おもちゃ図書館(特別支援学校 ・ 放課後児童クラブ ・ 特別支援学級等訪問)
- ② 親子の交流及び体験事業
 - ・ 遊びの広場(紙芝居 ・ 絵本 ・ パネルシアター)
 - ・ 人形劇 ・ 手作りおもちゃ等
- ③ 障がい児の療育指導支援事業
 - ・ 療育指導教室への預かり保育 ・ 親子交流(今年は野菜収穫とピザづくり予定)
- ④ 子ども用品に関するリサイクル事業
 - ・ 子ども用品譲り市
- ⑤ 一時預かり保育等家庭支援事業
 - ・ 研修会、イベントなどでの預かり保育



▲おもちゃで遊んでいます



▲手作りおもちゃ

子どもたちの無心に遊ぶ姿や笑顔は、私たちにパワーを与えてくれます。

おもちゃは、優しく、温かく人と人をつないでくれます。今後も子どもたちが心豊かに育つ地域社会を目指していききたいと思います。

新刊・おすすめ図書

紹介



コーナー



「社会を変える」を仕事にする
社会起業家という生き方

著者: 駒崎弘樹
出版社: 英治出版
発行日: 2007/11/6
価格: ¥1,470.(税込)

「お金儲け」より「社会を変える」ことを仕事に選んだ社会起業家、駒崎弘樹氏の感動のストーリー。国が真似したビジネスモデルがここにある!

北海道を中心に活躍するNGOの十年間の歩みをまとめた本です。ユニークな国際協力というのは、「日本で使われなくなった車いす」を普通の「旅行者」が、発展途上国などの「障がい児・者」に届けるというものです。面白いアイデアです。



手から手へ。一飛んで!
車いす一六〇〇台の笑顔

編著者: 吉田三千代
出版社: 共同文化社
発行日: 2008/05
価格: ¥1,575(税込)



子どもたちに、ほほえみを

編者: NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド
出版社: NTT出版
発行日: 2009/07/02
価格: ¥1,575(税込)

子どもたちの笑顔のため、私に何ができるのか? 「小説」という表現形態により、私たちが日々経験している日常のストーリーのなかで子ども問題を表現。さらに、実際の子どもの育成のためすでに助成した市民活動団体を紹介する。

NPO団体 シニア道場 楽

『シニアのみんなが元気だと、金沢の街が元気になる』

シニア道場 楽とは

シニア道場 楽は、今年1月に発足したばかりのNPOです。ダンス・書道・アンチエイジングなどのサークル活動を通して「シニアのみなさんと元気に活動する」「第二の目標をつくり、やりがいをつくり、楽しみをつくる」「金沢から元気なシニアの経験と知識を地域や若者に向けて発信する」の3つを活動指針として、中高年者の楽しいシニアライフを応援する活動をしています。

館長の福田さんに、活動を始めた動機を伺いました。

以前より、ご年配の方とお話しする機会が多く、そのすばらしい知識や経験を「もったいない」「まだまだ何かできるのではないかと感じていました。そこで、シニア道場 楽を発足し、まだまだ頑張りたいと思っている中高年の方の知識や経験を活かし、やりがいや目標となる成長の場や仕事を提供しようと思いました。しかし、まだ発足して半年ほどの団体です、まだそこへは至りません。そこでまずは、元気に活動することに重点を置き、サークルや講座を通して「集い」をつくり、仕事以外の目標や、やりがいを提供することにしました。

今、おこなっていることから順々にステップアップし、やがてさらなる成長の場や仕事を提供することにつながっていかねばと考えています。

生涯現役社会を実現しよう

アメリカの詩人、サミュエル・ウルマンの『青春(YOUTH)』という有名な詩があります。その中の「青春とは人生の一時期のことではなく心のあり方のことだ」という一節が大賛成し、年齢が低いから、高齢だから青春を謳歌できないという考え方には大反対です。しかし日本で幸福度調査をしてみると、年齢を重ねるほど幸せ度が下がっていき、逆に欧米では高齢になるほど幸せ度は上がっていくそうです。それは今後の日本の課題ではないでしょうか。

たとえば60歳になっても元気に活動し、次の目標を見つけて挑戦する。目標ができたなら理想ができます。理想ができたなら元気になります。「人間は年齢を重ねて老いるのではない。理想をなくしたとき老いるのである」これも『青春』のなかでよく知られている一節です。

シニア道場 楽はシニアのみなさんの理想をつくり、元気をつくる。その“道しるべの場”になることをめざして“道場”を名乗ります。

シニアの元気を創出して、ひいては一人ひとりの知識や経験という財産を地域や若者に発信していくことを活動目標としています。



▲和太鼓サークル



▲笑おうサークル



▲青春謳歌サークル

第二の人生を楽しむための道場

シニア道場 楽では、いくつもの講座やサークルなどを、無料でおこなっています。

例えば『笑おうサークル』劇団花幸会会長 御供田 幸子先生を講師に日常生活で感じる悩みや、腑に落ちない出来事を面白おかしく作り上げた婆ちゃんコントの公演。『青春謳歌サークル』北山クリニック院長 歌うスポーツドクター 北山 吉明先生を講師に『人は思い込みで老化する』をテーマにした講演や歌。『健康探求サークル』やまかわ内科クリニック院長 野々市アットホームドクター 山川 治先生を講師にアクティブなセカンドライフのための脳と体のメンテナンス。『和太鼓サークル』OTOsound加賀助 六 石川県支部代表 岩城 博之先生を講師に太鼓を叩いて、体に無理なく全身運動し、ストレス・運動不足を解消。『フラダンスサークル』フラダンス講師 保志場 静子先生を講師にゆるやかな音楽に合わせて、下半身の強化をしながらのフラダンス。1日のレッスンで一曲踊れるようになるお気楽体験。今後もいろいろなイベントや講演などを予定しています。予定はホームページ上で確認できるようになっていますので、ぜひアクセスしてみてください。

中高年者の中でも60代の方が多く、上は80代の方まで参加され、発足以降、参加人数はどんどん増えています。

シニア道場 楽は『学ぶ』新しいことにチャレンジし学ぶ場。『談じる』同世代の仲間と談笑することで新しい仲間をつくる場。『遊ぶ』技術をマスターするのではなく遊びながら自分のものにする場の3つの役割を持ち、人生を楽しむ達人を輩出して行きます。

無料で講座やサークルを開催しておりますので、お気軽にご参加ください。
一緒にNPOを作ってくれる方も募集しております。みなさんの楽しく充実した人生を応援しながら、自分自身も元気に、そして成長していきませんか？
詳しくは『シニア道場 楽』ホームページをご覧ください。



▲NPO団体シニア道場 楽 館長の福田さん

〒921-8162
石川県金沢市三馬2-292
NPO団体 シニア道場 楽
TEL 076-224-5024 FAX 076-227-8761
E-mail info@kanazawa-raku.jp
URL <http://www.kanazawa-raku.jp/>

シリーズ② 非営利団体のためのQ&A

「教えて、いーねっこのあおみさん」

いしかわ市民活動ネットワークセンター 理事・事務局長 青海 康男

はい!



Question①

子育て支援団体です。団体創立者のリーダーは顔も広く、いろいろな所から事業を引っ張ってきてくれます。その情熱に共感してついてきましたが、手伝う仲間も増えず、ただ忙しいだけの日々が続いています。リーダーは方々から引っ張りだこで充実した日々を送っているようですが、私は指示がないと動けないタイプです。団体から離れようかとも思うようになりました。どうしたら良いでしょうか。



Answer

ふたつの問題があるようですね。ひとつはリーダーの資質。もうひとつはあなたの主体性です。あなたの団体のリーダーは、本来はおひとりだけで活動するタイプの方です。そうした情熱にほれ込んでメンバーがたくさん増え、団体が育った時期もあったはず。NPO法ができて11年。今ではメンバーの一人ひとりが団体の一員としてのやりがいや生きがいを持つ時代になりました。メンバーと楽しく仕事のできる事業の組み立てを優先せず、リーダーの使命感のみで事業を推し進めると、温度差のあるメンバーには「忙しかった」という実感しか残りません。もうひとつは、あなたが事業を通し、リーダーとは別の発想や意見をもつことが、まずは、はじめの一步です。そして、そんなあなたを大事にしてくれる心の余裕がリーダーに生まれれば、仲間を増やす楽しさが持てる組織になると思います。がんばってみてください。



Question②

町内会の総会に初めて顔を出しました。ゴミの分別の仕方がとても悪いので、そのことを指摘しようと思ったのですが、会長さんから「そんな細かいことまでどうでもいい」と、一喝されてしまいました。周りの人も下を向いたきりです。こうして会長の一声で次々と議事が進んで総会は終わりました。こんなものっておかしくないですか。



Answer

おっしゃる通りです。住民の声を聞いて、みんなが納得できる解決方法を探して執行するのが町内会のリーダーである会長の仕事です。総会も議長を立てて民主的に運営するべきです。問題はたまたまリーダーになってしまった会長の資質。そして半ば「抗議」のように話してしまったあなたにも原因があるかも知れません。「指摘」ではなく、「わかりやすい」ゴミの分別を書いて、当日ステーションに貼ったらきれいになり分けされたとか、具体的な解決策を提案してこそ、他人は聞く耳を持ち、あなたへの信用と信頼につながります。かつては責任者への「抗議」や「批判」だけでよかった時代から、今は「参加と協働」でお互いが解決のために努力する時代になりました。少しでも課題解決のために知恵を出し、そして立ち上がる。今、地域でも求められている、これがはじめの一步です。



石川県NPO活動支援センターで、NPOのコトなんでも相談できる『NPOサロン』開催しています。
(毎月第2、第4水曜 18:30~21:00)

INFORMATION

県からのお知らせ

「NPOはじめての大作戦」のお知らせ

NPOの立ち上げ、運営に関する基礎知識を習得する初心者向けセミナーを開催します。

平成22年10月17日(日) 13:00～16:50 設立と協働・運営と資金
平成22年10月24日(日) 13:00～16:50 登記と労務・会計と税

・参加無料
・会場 石川県NPO活動支援センター 会議室

「NPO会計・税務の演習」のお知らせ

日々の記帳から決算、税のことまで「実務者向け」徹底演習型セミナーを開催します。

平成22年11月13日(土) 13:00～17:00 NPO会計の基本・複式簿記
平成22年11月20日(土) 13:00～17:00 NPO決算書類の作成方法
平成22年11月27日(土) 13:00～17:00 NPOの税金

・参加無料
・会場 石川県地場産業振興センター 第7研修室

NPOサロンのお知らせ

NPOに関する具体的な個別相談を行っています。「NPOを知りたい」「運営の困りごとがある」皆さん、お気軽にご相談ください。

平成23年3月まで(毎月第2・第4 水曜日 18:30～21:00)

・相談料 無料
・会場 石川県NPO活動支援センター

NPO専門家相談室のお知らせ(無料)

税理士等の専門家による無料相談を行っています。NPO会計の決算、登記の変更、雇用保険の手続きなどNPOの困りごとに専門家がお答えします。

10月20日:会計	11月4日:労務	11月17日:会計	12月1日:登記
12月15日:会計	1月6日:会計	1月19日:会計	2月2日:会計
2月16日:会計	3月2日:労務	3月16日:会計	

・相談対応(専門家)
会計・税務:税理士法人中山会計 中山雅人(税理士)
会計・税務:山内会計事務所 山内 司(税理士)
登記:今川・長橋合同司法書士事務所 長橋尚臣(司法書士)
労務:末正社会保険労務士事務所 末正哲朗(社会保険労務士)

・会場 石川県NPO活動支援センター
・時間 18:30～21:00 ご予約優先とし、1日3件をめどに対応します。

お問い合わせ先

**NPO法人いしかわ市民活動
ネットワーキングセンター(i-ねっと)**
〒920-0865 金沢市長町 1-3-40
TEL:076-232-6673 FAX:076-232-6674
Email:mail@ishikawanpo-net.jp

NPO運営能力向上 支援事業補助金のお知らせ

専門家によるNPO個別指導に助成しています。

補助金の趣旨:NPO運営に関する専門的な実地指導に助成し、運営能力の向上や課題解決を図ります。

補助対象事業:運営能力向上や課題解決を目的として行われるアドバイザーからの実地指導。

対象団体:県内に主たる事務所を有するNPO(法人格の有無は問いません。)

対象経費:アドバイザーの謝金+交通費

補助金額:補助対象経費の2/3以内(上限は2万円)

申請方法:アドバイザーが実地指導を行う予定日の2週間前までに、申請書類を提出してください。

お問い合わせ先

石川県NPO活動支援センター
〒920-0962 金沢市広坂 2-1-1
TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559
Email:npo@pref.ishikawa.lg.jp

NPO・ボランティア交流会のお知らせ

NPO・ボランティア団体が活動を継続していくうえで、どの団体にも共通している課題が「資金」。そこで、この「資金」の課題を共有・解決するための交流会を開催します。交流会では、企業・財団の助成金担当者による講義や、NPO・ボランティア団体からの事例発表、意見交換などを行ない、皆様の団体の「課題解決」や新たな「ネットワークづくり」につなげていきます。

・日時 10月9日(土)13:00～16:00
・会場 近江町交流プラザ・集会所
・参加無料 定員50名

・プログラム
12:30開催
13:00主催者挨拶
13:05助成金に関する研修会
・トヨタ財団
・北陸ろうきん
14:20休憩
14:30NPOからの事例発表
・金沢エコライフくらぶ
・NPO法人金澤町家研究会
15:00意見交換
・参加者・講師・事例発表者の意見交換や交流
16:00終了

お問い合わせ先

NPO法人金沢アートグミ
〒920-0907
金沢市青草町88番地
北国銀行武蔵ヶ辻支店3階
TEL:076-225-7708 Email:info@artgumm.com
☆詳細はこちら→<http://www.artgummi.com>

(財)石川県県民ボランティアセンター 「ボランティアに関する講習会等助成事業」のお知らせ

・事業の目的

ボランティア(分野を問いません。)に関する講習会、研修会、講演会等に係る経費の一部を助成することにより、ボランティア精神の普及やボランティア活動の充実、発展を図り、県民がボランティア活動に参加しやすい環境づくりに資することを目的とするものです。

・助成の対象となる事業

次の各号いずれにも該当する講習会等で、財団法人石川県県民ボランティアセンター理事長が適当と認めたものとします。
(1) 県内のボランティアグループ等が主催するもの。
(2) ボランティア精神の普及や団体等におけるボランティア活動の充実、発展に寄与するもの。
(3) 10人以上の参加者が見込まれるもの。
(4) 参加者から参加費を徴収しないもの。徴収するものであっても、その金額が必要最小限と認められるもの。
(5) 政治活動や宗教活動を目的としないもの。
(6) 不当な参加資格を設けていないもの。
(7) この助成事業について他の団体等からの助成を受けていないもの

・助成の対象となる経費及び額

この助成金の対象経費は、講習会等において指導等を行う外部講師(団体の構成員等ではないということです。)の謝金及び交通費とします。助成金の額は、講師謝金については原則として石川県の予算単価に準じた額、交通費については実費相当額とし、助成金の総額は5万円以内とします。

・事前相談

この助成金の交付を受けようとするときは、あらかじめ講習会等の内容並びに講師謝金等の額について、電話等により事前相談を行ってください。

お問い合わせ先

**財団法人
石川県県民ボランティアセンター**
〒920-0962
金沢市広坂2丁目1番1号
TEL:076-223-9558 FAX:076-223-9559
☆詳細はこちら→<http://www.ishikawa-npo.jp/volunteer/koushu.htm>



助成金ニュース

平成23年度 年賀寄附金配分事業

●申請できる法人

以下の団体が助成申請できます。

- (1) 社会福祉法人
- (2) 更生保護法人
- (3) 特例民法法人等
- (4) 特定非営利活動法人 1年以上経過

申請は申請目的に係る事業を所管する県知事の意見書の添付が政令により求められています。従って申請にあたっては意見書を入手する必要があります。

●申請できる事業分野

対象の事業分野は「お年玉付郵便葉書等に関する法律」により10の分野に定められています。団体は定款又は寄附行為に基づいて行うこれらの事業につき配分申請ができます。
(1) 社会福祉の増進を目的とする事業

- (2) 風水害、震災等非常災害による被災者の救助又はこれらの災害の予防を行う事業
- (3) がん、結核、小児まひその他特殊な疾病の学術的研究、治療又は予防を行う事業
- (4) 原子爆弾の被爆者に対する治療その他の援助を行う事業
- (5) 交通事故の発生若しくは水難に際しての人命の応急的な救助又は交通事故の発生若しくは水難の防止を行う事業
- (6) 文化財の保護を行う事業
- (7) 青少年の健全な育成のための社会教育を行う事業
- (8) 健康の保持増進を図るためにするスポーツの振興のための事業
- (9) 開発途上にある海外の地域からの留学生又は研修生の援護を行う事業
- (10) 地球環境の保全(本邦と本邦以外の地域にまたがって広範かつ大規模に生ずる環境の変化に係る環境の保全をいう。)を図るために行う事業

●対象事業

- (1) 活動(一般プログラムあるいはチャレンジプログラム)
 - (2) 施設改修
 - (3) 機器購入
 - (4) 車両購入(環境対応車)
- 一般プログラムは申請額50～500万円、チャレンジプログラムは50万円まで。(4年連続可能)
施設改修、機器購入、車両購入は500万円まで。

●応募受付期間

平成22年10月1日～平成22年11月30日

お問い合わせ先

**郵便事業株式会社
年賀寄附金事務局**
TEL:03-3504-4401 FAX:03-3592-7620
URL:<http://www.post.japanpost.jp/kifu/>

平成23年度 カーボンオフセット 年賀寄附金配分事業

●申請できる法人

日本の非営利法人(NPO法人等)

●対象事業

お年玉付郵便葉書等に関する法律」第5条にある、地球環境の保全を図る事業

●支援金額

1件あたりの上限金額の設定なし

●応募受付期間

平成22年10月1日～平成22年11月30日

お問い合わせ先

**郵便事業株式会社
年賀寄附金事務局**
TEL:03-3504-4401 FAX:03-3592-7620
☆詳しくは下記リンク先をご覧ください
<http://www.post.japanpost.jp/kifu/carbon/applications.html>

●本誌に関するご意見、ご要望をお寄せください。お寄せいただいたご意見等は、製作に活かすほか、本誌に掲載してまいりたいと考えています。

石川県NPO活動支援センター

〒920-0962 金沢市広坂2-1-1石川県広坂庁舎4階
TEL 076-223-9558 FAX 076-223-9559

URL <http://www.ishikawa-npo.jp>
E-mail npo@pref.ishikawa.lg.jp



石川県内でボランティア活動、NPO活動に参加し、活動しているシニアのみなさんを紹介するコーナー『シニアVOICE』

第2回目となる今回は、数々の団体に所属し、日本の伝統芸能である能楽を子どもたちに伝える、能登宝生会の津田文雄さんにお話をうかがいました。

人と文化の結びつき

日本の文化を知る

— 「能登宝生会」とは？

津田さん ● 大小合わせて9つほどの社中団体からなる、能楽の愛好家の団体です。もう56年目になります。

— なぜ、「能登宝生会」に所属されたのですか？

津田さん ● 私の同級生がプロの能楽師で、私も能楽をやっていたというのもあって、会を立ち上げるときに誘われました。

— 今取り組んでいる活動を教えてください？

津田さん ● 今年で3回目になりますが、七尾市の小丸山小学校の5年生に能楽教室を行っています。

県内外から能楽師の先生をお招きして、子どもたちに能楽を一から教えています。

子どもたちは、正座には不慣れ、挨拶もできない、扇子など触ったこともないですから、大変苦労しています。

去年は、インフルエンザが流行して小学校の中で、学級閉鎖、学年閉鎖もありました。しかし、5年生は舞台に立つことを楽しみにしていたからか、閉鎖になることもなく、元気に練習していました。

— なぜ、子どもたちに能楽を教えようと思ったのですか？

津田さん ● 能楽をやった思い出で、この地域に生まれてよかったと感じてもらいたいです。

あとは、能楽というものがスタンダードだと覚えてほしいんです。

能楽を少しでもやったことがある方が、外国の方と接したときに、日本の文化は何かとたずねられたら、迷わずに答えられるような人を育てたいと思っています。

熱中して習いなさいと言っているのではなく、ユネスコ無形文化遺産にもなっていて、世界的にメジャーな日本の伝統芸能である能楽を、自分の国の文化を知ってもらいたいと思って教えています。



己を高める文化

— そのほかいろいろな団体に所属されていますが…

津田さん ● 能登宝生会以外にも、石川県損害保険代理業協会、七尾市文化協会、三井住友・能登MSA、七尾商工会議所、七尾法人会、七尾城址文化事業団…まだまだありますね。

— なぜ、こんなに多くの団体に所属されているんですか？

津田さん ● 人に頼まれると断れない性分なんです。

私自身にはそんなに能力はないと思っています。ただ、その団体の会合に行って、その会合にふさわしい提案ができるかどうかという自分への問いかけなんです。

「他の団体ではこうだった」、ではなくて、この団体で何が必要で、なにをすべきかということを実際に考えることが自分を生かすことだと思っています。

— 今後の課題や目標を教えてください。

津田さん ● 文化というものには経済界の支援が必要なんです。そのためにも、経済界の方と文化を近づけたいと思っています。

私は経済活動自体が文化だと思っています。経営者でありながら舞踊をやる。そういうことができるのが一流企業のトップだと思うんです。

田舎へ行くほど、「商売が忙しい」とか、「文化なんぞ…」という考え方が多い、それが地域の弱さだと感じています。それを知って、文化に触れ、もっと自分を高めてほしいんです。

私も次に渡して行かなくてはならない世代です。いろいろな団体と一緒に活動している若い世代への刺激になればいいと思っています。

能登宝生会 津田 文雄さん

【お問い合わせ】

〒926-0041 石川県七尾市府中町218-1
TEL 0767-52-6574 FAX 0767-52-6585

能登経営センター

E-mail noto-keiei@ceres.ocn.ne.jp

URL <http://www.dairitenhp.ocn/noto-keiei/>

